



What do you want to do ?



4月19日(水)2時間目, 吉岡先生が行う8年2組の英語の授業を見てきました。学習していたのは「What do you want to do?~あなたは何かしたいですか?~」を使った会話。ペアで話をしたり, 英語を聞いて意味を理解したり, 実際に英語を使ってコミュニケーションをとることができるようにとみんな頑張っていました。

話をしている内容を聞いていると, 大阪に行きたい。韓国に行きたい。いろいろな「したい」が飛び交っていました。みなさんは, 何が「したい」ですか?

今回はそこに「ゆ」を加えて, 「しゅたい(主体)」の話です。今求められている力のひとつに「主体的に学習に取り組む姿」があります。主体的とは, 自ら進んで課題を見つけて取り組んだり, 課題解決に向けて見通しをもって取り組んだり, いろいろな人との対話を通してよりよい答えを見つけだしたりすることです。これはどの授業においても, これから社会に出て何か仕事をする上でも必要な力とされています。想青学園でも, その力を育ていけるように日々教育活動に取り組んでいます。

21日(金)1時間目, 河村先生が8年3組で数学の授業をしているところを通りかかりました。そこには主体的な8年生の姿がありました。課題解決に向けて, どうすれば解決できるのかお互いに対話しながら教え合っている姿です。

Aさん「ここがこうだから, こうなって…」
Bさん「なんでこうなるん?」
Aさん「それはここがこうなって…」
Bさん「あー, なるほどね」

今回は計算式の答えを導き出すための対話でしたが, こうした対話が生まれることが問題解決への第一歩。特に印象的だったのは, 説明を受けても分からなかったことに対して, 「なんでここがこうなるん?」と素朴な疑問を出せていたことです。「理解したい, 分かりたい, 聞きたい」といった, いろいろな「たい」がそこにありました。そして, その疑問に対して, 言葉をかえて, 補って説明しなおしている姿も印象的でした。まさに学びあって, 育ちあう姿でした。

入学式で学校長が, 新1年生に伝えた「鯛」の話を覚えているでしょうか。(学園だより No.2 参照) それは新1年生に限ったことではありません。全員で「鯛」が溢れる時間を作っていきたいですね。

力を合わせて

4年生が学年種目の練習をしていました。一人だけの力では成功しない種目のようです。みんなで力を合わせる大切さを感じられるのではないのでしょうか。

楽しそうに, でも真剣に力を合わせて練習をしていました。これから練習を重ねて, 本番でどのような姿を見せてくれるのが楽しみですね。



想青学園 欠席・遅刻・早退 連絡フォーム

QRコードを読み取って, 必要事項を入力してください。

